

岩手県知事 達増 拓也 様

要 望 書



令和6年7月16日



国道281号整備促進期成同盟会

「国道281号」の抜本的改良整備について

〈要旨〉

国道281号を、より規格の高い道路として早急に全線を整備されますよう強く要望いたします。

〈内容〉

久慈市と盛岡市を結ぶ国道281号は、地域間の交流促進と連携強化、観光振興等による地域経済の活性化はもとより、救急医療機関への搬送時間の短縮、福祉環境の充実や教育振興への寄与など、沿線市町村の住民約41万人にとって欠くことのできない重要な路線であります。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災においては、国土交通省東北地方整備局が展開した「くしの歯作戦」の下、内陸部から被災地である三陸沿岸北部への救援ルートとして有効に機能し、改めてその重要性を証明するとともに、その整備の必要性が更に明確になったところであります。

さらに、当路線は、令和3年6月に岩手県が策定した「岩手県新広域道路交通計画」において、「一般広域道路」として位置付けられるとともに、将来の高規格道路を目指す構想路線として「(仮称)久慈内陸道路」が当路線に重ねる形で位置付けられたところであります。

これまで、当路線の整備にあたり、社会資本整備総合交付金(復興枠)や震災復興特別交付税による財政措置などの手厚い措置を講じて頂いているところであり、盛岡市～滝沢市間の4車線化や、大坊地区、茶屋場地区、下川井地区、案内地区の改良整備など、国・県・関係機関のご尽力に、沿線住民とともに深く感謝を申し上げます。

また、当路線沿線には、カーボンニュートラルの実現に向けた陸上風力発電施設の整備計画が多数点在しております。これらの設備部品の荷揚げや保管には重要港湾「久慈港」の活用が

見込まれており、再生可能エネルギーの導入に伴う地域経済の活性化や地域課題の解決などの観点からも、当路線の重要性は今後ますます高まります。

しかしながら、当路線には未だ多くの線形不良区間及び隘路区間が存在し、物流輸送及び救急搬送など円滑な交通が阻害されているだけでなく、急勾配・急カーブが連続する山間部の交通の難所では、冬期において重大事故が頻発するなど、安全・安心な交通確保はもとより、沿岸部から内陸部まで短時間で結ぶ道路の整備は極めて重要かつ長年の課題となっております。

平成28年8月30日に岩手県を襲った台風第10号による豪雨災害では、当路線も法面崩壊や道路流出等による不通箇所が多数発生し、道路機能の脆弱性が明らかとなったほか、将来的に発生確率が高いとされている日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震による最大クラスの津波想定は、多くの沿岸地域でこれまでの浸水想定を上回る被害が予想されており、今後も予断を許さない状況であります。

このような状況下において、地域を繋ぐ横断軸に留まらず、令和3年12月18日に全線開通した三陸沿岸道路と有機的に連結し、激甚化・頻発化する災害から人々の生命と財産を守るため、被災地の後方支援活動に資する「命の道」として大きな責務を担う当路線を、より規格の高い道路として全線の抜本的な改良整備が早急に図られますよう、強く要望いたします。

また、地方創生を図るために、生産性や防災機能の向上に資する真に必要な道路整備について、制度の拡充措置を講じ、地域経済の下支え効果が確実な公共事業関係費の総額を安定的・持続的に確保するよう併せて要望いたします。

国道281号整備促進期成同盟会

会長 久慈市長 遠藤 譲 一



要 望 内 容

- 1 国の公共事業関係費を、平成21年度以前の7～8兆円規模に回復させるとともに、防災・減災対策、国土強靱化対策を確実に実施するため、毎年度の当初予算の段階から公共事業関係費の大幅な増額を図ること。
- 2 国土強靱化の実現に向けた道路ネットワークの構築による機能強化を着実に実施すること。「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を確保し、これまでのペースを緩めることなく、計画的・継続的に事業を推進すること。また、昨今の地震、豪雨、豪雪の災害状況も踏まえた上で、切れ目なく、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化中期計画を速やかに策定し、国土強靱化に必要な予算・財源を別枠で確保すること。さらに、大規模自然災害に即応するための、地方整備局等の体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと。
- 3 老朽化により劣化・変状が予測される道路施設について、義務化された管理者による5年毎の定期点検を踏まえた安全対策が十分に実施できるよう、地方負担への特例的な支援措置を設けるなど、必要な財政支援を講じること。
- 4 地方経済の好循環等、地方創生の充実・強化を推進するため、産業振興や防災等における道の駅の活用について、自治体の自主的・主体的に行う取り組みに対して支援を行うこと。
- 5 資材価格の高騰や賃金水準の上昇も加味した上で、必要な道路整備・管理が、計画的・長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和7年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること。

- 6 滝沢市～岩手町間（国道4号重複区間）の4車線化について
- 7 地域住民の通行の安全確保のため、岩手町大坊地区における歩道整備の事業化について
- 8 葛巻町城内小路地区の改良整備事業（道路拡幅及び線形改良）の事業化について
- 9 葛巻町繫地区～小屋瀬地区間の改良整備（道路拡幅、線形改良及び歩道整備）の事業化について
- 10 久慈市山形町平庭地区の改良整備（道路拡幅及び線形改良）の事業化について
- 11 久慈市山形町案内～戸呂町口間の事業推進及び戸呂町口～久慈間の改良整備事業の事業化について
- 12 久慈市荒町地区の電線地中化の確実な事業推進について
- 13 久慈市大川目地区(生出町地区)の事業推進及び大川目地区(森地区)、川貫地区の歩道整備の事業化について
- 14 久慈市街地の交通渋滞解消及び災害時の輸送ルートを確保するため、津波浸水想定区域を回避し、国道45号へ接続するバイパスの事業化について
- 15 「岩手県新広域道路交通計画」における構想路線「(仮称)久慈内陸道路」の早期実現について